

東京ビデオフェスティバル(TVFF) くにたち上映会 2026.1/25(日)

新春の休日、市民がつくった映像作品と一緒に鑑賞してみませんか。
優れた作品には作者の人生が描かれていて、自分のことを見つめたり、社会やコミュニティのあり方を考えるヒントで溢れています。皆さまと作品を見ながら、感想をおしゃべりしてみたいと企画してみました。お待ちしております。



① 集う 笑う ゆうゆう

13分18秒 藤本 溪太
(東京都)TVF2023 TVFジャーナリズム賞

作者は学生時代、祖母の家で暮らしていた。その家は大阪府箕面市の一軒家、作者の祖母が自宅を開放してボランティアで運営する高齢者施設「気 まぐれゆうゆう」でもある。連日、高齢者女性世代で大繁盛と、元気で笑顔の光る場所となっている。その魅力を紐解きコミュニティの成り立ちを考える。



② よみがえった文化の拠点 ～市民パワーで10周年～

19分59秒 有沢 準一
(北海道)TVF2022 TVFジャーナリズム賞

コミュニティを考える。北海道に本屋がない町が増えている。原因は人口減と読者離れた。2010年留萌市も本屋が消えた。過疎に住んでも心も過疎になりたくない、主婦たち6人が立ちあがり「大型書店を招き隊」が誕生。誘致運動の結果2011年三省堂書店が開店した。このたび開店10周年を迎えた。



③ 駅舎に登ろう

15分55秒 国本 隆史
(東京都)TVF2008 優秀作品賞

駅舎が消える。国立市。町の誕生から、この町の移り変わりを見守ってきた駅舎が鉄道会社の工事の為に、取り壊されようとしている。幼い頃から見慣れたこの駅舎が消えていくと、心にぽっかり穴があいてしまう気がする。だから、忘れ得ぬように、足の裏でこの駅舎を記憶に残そうと思ったのだ。



④ 仮想現実

13分37秒 小川 旭
(東京都)TVF2025アワード賞

怪奇ドラマ。「我々が見ている世界は、もしかすると推測であり、錯覚であり、それが『仮想現実』である」と主張する或る精神科医が「現実そのものを変える人体実験」を通して、精神医学の「表と裏」の実情を描く。精神医学界の「ジキルとハイド」彼は人類にとって敵なのか味方なのか…。エンドロールからが見せ場。



⑤ 聖者のぶどうと奇蹟の滴

15分00秒 金子 喜代子
(東京都)TVF2020 TVFジャーナリズム賞

栃木県足利市内にある著名なココ・ファーム・ワイナリーの物語。サミット晩餐会で用いられた上質のワインづくりの秘密に迫る。知的障害者支援施設「こころみ学園」が設立され、園生たちがワインづくりに関わってきた。園生の農作業を通して、自立を目指したのだ。秋になると、時間と労力をかけて育てたぶどうの収穫の時期を迎え、ワイン祭が始まる。



⑥ フードロスの現状と未来

14分42秒 桜美林大学 塚本ゼミ
大石 西 峯澤 妃奈里 小泉 保乃佳 潮田 翔大
(東京都)TVF2022アワード賞

本来食べられるのに捨てられてしまう食品を「フードロス」という。具体的には、家庭での食べ残しや、スーパー・コンビニエンスストアでの売れ残りなどをさす。もったいないのはもちろんのこと、環境に与える影響についても問題視されている。廃棄される食品とフードロス削減に取り組む人々の姿を通して、コンビニ流通の課題やフードロスの現状と未来に迫る。



⑦ 韓国のヒロシマ

16分40秒 鈴木 賢士
(東京都)TVF2016 ビデオ大賞

広島で死傷した外国人が20カ国以上、1番多いのが韓国朝鮮人で、ハプチョン町は韓国のヒロシマと呼ばれる程出稼ぎの被爆者がいたという。彼らは戦後治療も受けられず、ケロイドが残ったままだった。在外国被爆者には被爆援護法が該当しなかったというのだ。



⑧ カーテンの幻

14分30秒 鈴木 賢士
(東京都)TVF2021 ビデオ大賞

作者の闘病記。7月半、心不全と肺炎で緊急入院し、症状は呼吸困難。人工呼吸器で助けられた。集中治療によって意識混濁、せん妄状態になる。意識がおかしくなる。カーテンに日中戦争の幻を見る。後期高齢者の前に現れた別れ道。娘の声で迷いが吹っ切れ、生きる道を選択した。リハビリで急回復して、今後どう生きるかを考えるようになる。

開催日 2026年1月25日(日)

13時30分開場

13時40分プログラムスタート

15時頃 10分休憩

16時40分 閉会

入場:無料

会場:国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ会議室

JR中央線「国立駅」北口から徒歩約1分、駅北側の高架下にあります。

企画/主催:NPO法人市民がつくるTVF

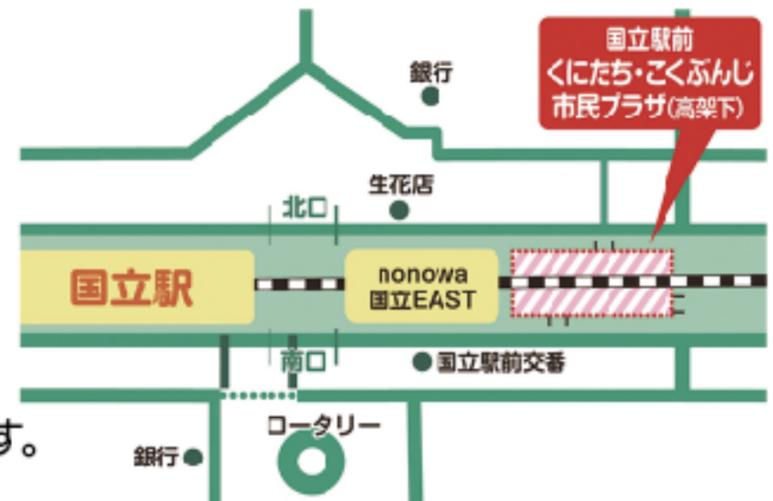
協力:TAMAビデオクラブ・新宿ビデオ愛好会・府中ビデオサークル

司会:高野宏

解説:小林はくどう(ビデオ作家 TVF審査委員)

参加申し込み先:小林はくどう 携帯 090-6344-4010

座席が満席になり次第、締め切らせていただきます。お早めどうぞ!



[助成] アーツカウンシル東京
【ライフウィズアート助成】

